

第1回
「離婚したくなる夫・妻の仕事」
調査

2022 年4月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第1回「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査

2. 調査方法

インターネット調査

3. 調査エリア

全国

4. 期間

2022年2月18日(金)～2月20日(日)

5. 調査対象者

20～49歳の既婚者 男性・女性個人 600人

6. 有効回収数

600サンプル

7. 回答者の属性

性別・年齢層

	20代	30代	40代	合計
既婚男性	100	100	100	300
既婚女性	100	100	100	300
合計	200	200	200	600

1. 調査結果

[1] 「離婚したくなる夫・妻の仕事」／パートナーの仕事に対する満足度

調査対象者 600 名に対し、「夫・妻の仕事に対する不満の有無」を調査したところ、全体の 35.5%がパートナーの仕事に対して「不満がある」と回答した。

世代別でみると、「30 代」(回答率 40.0%)が最も高く、次いで「20 代」(同 33.5%)、「40 代」(同 33.0%)と続いている。夫妻別では、全ての世代において夫より妻の方が不満を抱えており、特に 30 代妻においては半数近くが不満を持っていることが明らかとなった。

パートナーの年収別に不満の有無を集計したところ、「400 万円以上 500 万円未満」(同 44.0%)が最も高く、次いで「300 万円以上 400 万円未満」(同 43.2%)、「500 万円以上 600 万円未満」(同 41.4%)となった。夫・妻ともに、パートナーの年収が 600 万円を下回ると不満が増加しており、特に妻においてはパートナーの年収が 500 万円未満の場合に半数以上、300 万円未満では約7割が不満と回答していることから、年収の低さが不満に繋がっていることが分かる。

「パートナーに対する転職希望の有無」を調査したところ、全体の 27.5%がパートナーに「転職してほしい」と回答した。世代別では、「30 代」(同 31.5%)が最も高く、次いで「20 代」(同 26.0%)、「40 代」(同 25.0%)の順となった。特に、30 代妻(同 38.0%)の回答率が他の世代に比べて突出して高く、パートナーの仕事に不満を抱える 30 代妻は、その解決方法としてパートナーに転職してほしいと考えている様子が見えてくる。

パートナーの年収別に転職希望の有無を集計したところ、「300 万円未満」(同 36.5%)が最も高く、次いで「300 万円以上 400 万円未満」(同 30.5%)、「400 万円以上 500 万円未満」、「500 万円以上 600 万円未満」(同 29.3%)となった。特に、パートナーの年収が「300 万円未満」の妻においては、65.4%がパートナーに転職を望んでおり、年収の低さが転職希望に繋がっていることが分かる。一方、パートナーの年収が「800 万円～1,000 万円」の高収入であっても、妻の3人に1人は転職してほしいと考えている結果となった。

「パートナーの仕事を原因とする離婚意識の有無」を調査したところ、全体の 9.7%が「パートナーの仕事が原因で離婚したい」と考えていることが明らかになった。

「離婚したい」と回答した内訳を世代別でみると、「30 代」(同 10.5%)が最も高く、次いで「40 代」(同 10.0%)、「20 代」(同 8.5%)となった。夫妻別では、夫は若い世代ほどパートナーの仕事が原因で離婚したいと考える割合が増加し、反対に妻は世代が高いほど、離婚したいと考えていることが明らかとなった。

パートナーの年収別に離婚意識の有無を集計したところ、「800 万円以上 1,000 万円未満」(同 15.6%)が最も高く、次いで「500 万円以上 600 万円未満」(同 13.8%)、「400 万円以上 500 万円未満」(同 12.0%)となった。仕事への不満や転職を望む声が低年収層で高まっていた一方で、離婚意識には直結していない様子が見えてくる。(図表 A)

[2] 「離婚したくなる夫・妻の仕事」／就業状況別パートナーの仕事に対する満足度

本調査において、共働き・片働きの比率は、共働き世帯(回答率 72.8%)が片働き世帯(同

27.2%)を大きく上回る結果となった。(図表 B)

世帯の就業状況別に集計したところ、「仕事への不満」(共働き 32.7%、片働き 42.9%)、「転職希望」(共働き 25.2%、片働き 33.7%)、「離婚意識」(共働き 8.0%、片働き 14.1%)、全ての項目において、共働き世帯よりも片働き世帯の方が高い回答率となった。共働き世帯においては、自身も働いていることで、パートナーの仕事に対して理解を示す傾向があると考えられよう。

パートナーの年収別にみると、世帯の就業状況に関わらず、600 万円を下回ると仕事への不満や転職を望む割合が高まる中、パートナーの年収が 300 万円未満の片働き世帯において、「仕事への不満」(回答率 73.7%)、「転職希望」(同 73.7%)、「離婚意識」(同 31.6%)が他のカテゴリーに比べて突出している。

また、「800 万円～1,000 万円未満」の層においては、片働き世帯の転職希望、離婚意識が高くなっており、年収以外の理由が存在していると推察される。(図表 C)

[3] 「離婚したくなる夫・妻の仕事」/パートナーの仕事に対する不満理由

「共働き世帯」におけるパートナーの仕事に対する不満理由について、「仕事への不満」、「転職希望」、「離婚意識」のそれぞれで集計したところ、3項目の全てにおいて、「給料が低い」が最も高い回答を占める結果となった。「給料が低い」の回答率は、他の不満理由に比べて圧倒的に高く、給料の低さが不満に繋がっていることが明らかとなった。

夫妻別においても、夫、妻のそれぞれで「給料が低い」が突出している点は変わらないものの、3項目の全てにおいて、妻の回答率が高くなっている。共働きにおいても、夫より妻の方がパートナーの年収に対して不満を持ちやすい様子が見えてくる。

また、「残業が多い」が3項目全てにおいて上位3位以内にランクインしていることから、残業によって家庭に割く時間が減少していることが年収以外の不満理由になっていると考えられよう。(図表 D)

世代と年収別に集計したところ、20 代では 500 万円未満、30 代では 600 万円未満、40 代では 800 万円未満において不満が高まっており、世代が上がるにつれて、パートナーに求める年収も多くなる点が見えてくる結果となった。(図表 E)

2. 総評

厚生労働省発表の人口動態統計(2020年)によると、3組に1組が離婚(離婚率 36.8%)に至っている。一度は一生を添い遂げると約束した夫婦が離婚を決断するには様々な原因があるだろうが、本アンケートでは特に「パートナーの仕事」が結婚生活に与える影響について調査している。

今回の調査結果では、「パートナーの仕事に対して3人に1人は不満」を持っており、「4人に1人はパートナーに転職してほしい」と考え、「10人に1人はパートナーの仕事が原因で離婚したい」と考えていることが明らかとなった。特に、夫よりも妻の方がパートナーの仕事に対して不満を持っており、世代としては30代妻の不満が大きいことが分かった。

本アンケートの結果によると、パートナーの仕事に対する不満は、圧倒的に「年収」が影響しており、年収が低いほど不満が高まりやすいことが明らかとなった。特に年収500万円台を基準として、不満の割合が大幅に高まっており、パートナーには民間企業の平均年収(433万円 令和2年度民間給与実態統計調査より)以上を稼いでほしいと考えていることがうかがえる。また、世代が上がるほどパートナーに不満を持つ年収水準も高まることから、年齢に応じた年収を得られていない場合に不満が高まる様子がうかがえる。

昭和以前の日本の家庭は、夫が稼いで妻は専業主婦として家庭を守る形が多く、仕事や収入に対する不満を持つのは、妻が中心であった。しかし、本調査において共働き世帯が7割超と多数を占めているように、女性の社会進出に伴って共働き家庭が中心となっている現代では、不満が生じるバランスにも変化が生じている。

就業状況別に見ると、共働き世帯よりも片働き世帯での不満が大きいことが明らかとなっており、共働き世帯では収入源が2つあることで、不満の最も大きな要因である「収入に対する不満」が和らいでいることが考えられる。また、収入以外の点では、「残業の多さ」が不満の原因となっていることから、残業が家事や育児の分担、家族団欒の阻害要因になっているものとして不満に感じている様子もうかがうことができる。

本アンケートの結果からは、パートナーとの円満な家庭生活を構築する要因として、夫婦それぞれが「十分な給料」を得て、「少ない残業時間」によって平等な家事・育児の時間を確保することが重要なポイントといえるが、これらは自身の努力だけで解決できるものではない。企業には、従業員から「会社のせいで離婚した」と言われることのないように、業務効率化や働き方改革、収益体質の改善に努め、従業員がパートナーから不満を持たれないための就労環境を築いていくことが求められよう。

図表A 第1回「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査／パートナーの仕事に対する満足度 世代・年収別 (n=600)

		パートナーの仕事に不満がある			パートナーに転職して欲しい			パートナーの仕事が原因で離婚したい		
		全体	夫回答	妻回答	全体	夫回答	妻回答	全体	夫回答	妻回答
全体		35.5%	29.3%	41.7%	27.5%	25.7%	29.3%	9.7%	9.3%	10.0%
世代	20代	33.5%	28.0%	39.0%	26.0%	27.0%	25.0%	8.5%	12.0%	5.0%
	30代	40.0%	32.0%	48.0%	31.5%	25.0%	38.0%	10.5%	10.0%	11.0%
	40代	33.0%	28.0%	38.0%	25.0%	25.0%	25.0%	10.0%	6.0%	14.0%
パートナーの年収	300万円未満	39.2%	32.8%	69.2%	36.5%	30.3%	65.4%	9.5%	7.4%	19.2%
	300万円～400万円	43.2%	34.0%	52.1%	30.5%	21.3%	39.6%	9.5%	8.5%	10.4%
	400万円～500万円	44.0%	32.5%	57.1%	29.3%	27.5%	31.4%	12.0%	12.5%	11.4%
	500万円～600万円	41.4%	31.6%	46.2%	29.3%	26.3%	30.8%	13.8%	26.3%	7.7%
	600万円～800万円	25.4%	21.1%	27.1%	16.4%	26.3%	12.5%	3.0%	5.3%	2.1%
	800万円～1,000万円	21.9%	9.1%	28.6%	25.0%	9.1%	33.3%	15.6%	18.2%	14.3%
	1,000万円～1,500万円	6.7%	0.0%	9.1%	13.3%	0.0%	18.2%	6.7%	0.0%	9.1%
	1,500万円以上	22.2%	20.0%	25.0%	11.1%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※背景色付きは、不満・転職・離婚の各項目における全体×全体の回答率を超える数値

図表B 第1回「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査／世帯の就業状況

世帯の就業状況	全体	男性	女性
片働き	27.2%	6.3%	48.0%
共働き	72.8%	93.7%	52.0%

図表C 第1回「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査／不満理由 (n=不満 213、転職 165、離婚 58/複数回答)

		パートナーの仕事に不満がある		パートナーに転職して欲しい		パートナーの仕事が原因で離婚したい	
		共働き	片働き	共働き	片働き	共働き	片働き
全体		32.7%	42.9%	25.2%	33.7%	8.0%	14.1%
パートナーの年収	300万円未満	34.1%	73.7%	31.0%	73.7%	6.2%	31.6%
	300万円～400万円	43.7%	41.7%	28.2%	37.5%	9.9%	8.3%
	400万円～500万円	35.3%	62.5%	25.5%	37.5%	7.8%	20.8%
	500万円～600万円	35.9%	52.6%	28.2%	31.6%	12.8%	15.8%
	600万円～800万円	23.8%	28.0%	14.3%	20.0%	2.4%	4.0%
	800万円～1,000万円	15.0%	33.3%	15.0%	41.7%	10.0%	25.0%
	1,000万円～1,500万円	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%
	1,500万円以上	22.2%	-	11.1%	-	0.0%	-

※背景色付きは、全体の回答率を超える数値

図表 D 第1回「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査／共働き×不満理由

(n=不満 213、転職 165、離婚 58/複数回答)

	パートナーの仕事に不満がある			パートナーに転職してほしい			パートナーの仕事が原因で離婚したい		
	全体	夫回答	妻回答	全体	妻回答	夫回答	全体	夫回答	妻回答
給料が低い	78.3%	76.3%	80.6%	60.9%	56.9%	66.7%	51.4%	47.4%	56.3%
残業が多い	20.3%	13.2%	28.4%	15.5%	10.8%	22.2%	17.1%	21.1%	12.5%
福利厚生が不十分	12.6%	7.9%	17.9%	7.3%	1.5%	15.6%	14.3%	5.3%	25.0%
休みが少ない	9.8%	11.8%	7.5%	8.2%	7.7%	8.9%	17.1%	15.8%	18.8%
ブラック企業	9.8%	3.9%	16.4%	6.4%	0.0%	15.6%	11.4%	0.0%	25.0%
勤務形態が不規則	9.8%	5.3%	14.9%	5.5%	3.1%	8.9%	20.0%	15.8%	25.0%
土日休みでない	9.1%	5.3%	13.4%	10.0%	4.6%	17.8%	8.6%	0.0%	18.8%
将来性が感じられない会社	9.1%	5.3%	13.4%	10.0%	6.2%	15.6%	17.1%	5.3%	31.3%
テレワークが少ない／実施していない	7.0%	7.9%	6.0%	3.6%	4.6%	2.2%	5.7%	10.5%	0.0%
周囲との生活のペースが異なる	6.3%	7.9%	4.5%	4.5%	4.6%	4.4%	5.7%	0.0%	12.5%
転勤が多い	4.9%	0.0%	10.4%	2.7%	0.0%	6.7%	2.9%	0.0%	6.3%
テレワークが多い	4.2%	1.3%	7.5%	3.6%	1.5%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
雇用形態が正社員ではない	2.1%	2.6%	1.5%	2.7%	3.1%	2.2%	11.4%	15.8%	6.3%
出張などで不在が多い	2.1%	3.9%	0.0%	1.8%	3.1%	0.0%	8.6%	10.5%	6.3%
居住環境(社宅など)が悪い	2.1%	2.6%	1.5%	1.8%	1.5%	2.2%	5.7%	5.3%	6.3%
企業のイメージが悪い	1.4%	2.6%	0.0%	1.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕事に清潔感がない	1.4%	2.6%	0.0%	0.9%	1.5%	0.0%	5.7%	5.3%	6.3%
その他	1.4%	2.6%	0.0%	0.9%	1.5%	0.0%	2.9%	0.0%	6.3%

※背景色付きは、上位3項目

図表 E 第1回「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査／世代×年収 (n=不満 213、転職 165、離婚 58/複数回答)

		パートナーの仕事に不満がある			パートナーに転職して欲しい			パートナーの仕事が原因で離婚したい		
		20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代
パートナーの年収	300万円未満	23.9%	27.5%	30.3%	36.5%	27.0%	36.0%	29.4%	23.8%	20.0%
	300万円～400万円	26.9%	21.3%	9.1%	23.1%	20.6%	8.0%	11.8%	23.8%	10.0%
	400万円～500万円	19.4%	13.8%	13.6%	13.5%	11.1%	16.0%	23.5%	14.3%	10.0%
	500万円～600万円	9.0%	16.3%	7.6%	11.5%	12.7%	6.0%	17.6%	14.3%	10.0%
	600万円～800万円	6.0%	7.5%	10.6%	1.9%	6.3%	12.0%	0.0%	4.8%	5.0%
	800万円～1,000万円	4.5%	2.5%	3.0%	1.9%	9.5%	2.0%	5.9%	9.5%	10.0%
	1,000万円～1,500万円	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.6%	2.0%	0.0%	0.0%	5.0%
	1,500万円以上	0.0%	1.3%	1.5%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※背景色付きは、上位3項目